

令和 5 年 8 月 1 8 日

長野県知事 様

令和 5 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から令和6年度	
会社名	株式会社 青柳	
住所	〒384-0301 長野県佐久市臼田1335-1	
代表者名	代表取締役 青柳 敏孝	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	総務部	
担当者名	青柳 美千代	
連絡先	TEL	0267-82-2533
	FAX	0267-82-9776
	電子メールアドレス	info@aoyagi-aqua.co.jp
ホームページアドレス		

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物 3 R 実践協定の理念を社内で共有し、今後も継続的に社員教育を行うことにより産業廃棄物削減・リサイクル率向上・廃棄物の適正処理を図り地球環境保全に寄与する。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	5年度目標値	4年度実績値	3年度実績値	2年度実績値
総排出量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	300.0	66.31	372.56	129.04
リサイクル量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	295.0	66.31	371.20	128.40
売上高の推移 (円)	300,000,000	441,000,000	270,000,000	210,750,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・産業廃棄物処理責任者：工事部 井上正彦
- ・産業廃棄物処理責任者による年1回の廃掃法及び建設業とリサイクルの現状についてセミナーを開催することで、現状に即した工法・リサイクルの取り組みんぼ意識づけを図る。
- ・現場毎に掲示板を設置し、産業廃棄物の種類、予定排出量、処分方法を記入し付近住民に情報を公開する。
- ・施工決定段階（特に解体工事においては廃棄物が大量に排出されるため）では工法や使用建材について十分確認しリサイクル可能な種類については再生率を上げる工法を考慮する。実施段階において全ての現場入場者分別収集の取組を図りリサイクル率向上をスローガンに意識づけを徹底する。
- ・車内で使用する事務用品はグリーン購入法適合マークのあるものを積極的に取り入れる。
- ・現状紙行っている申請・届け出を電信申請に順次切替えていく。
- ・電子マニフェストを導入しているが、現状活用が一部にとどまっているため今後積極的に活用する。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	5年度目標値	4年度実績値	3年度実績値	2年度実績値
再生骨材	95	100	95	90
全体	95	92	95	90